

平成 31 年度事業計画書

基本方針

昨今の社会経済情勢は、国内外での不安要因が高まり先行きの不透明感が増えています。その中、協会を取り巻く環境は、行政の財政問題や企業の経営状況の激変もあり、厳しい経営環境が継続しています。

現在、少子高齢化が進む日本では人生 100 年時代を迎え、個人に応じた健康管理のあり方とその支援活動が課題となっています。

国は、「国民の健康寿命が延伸する社会」に向けた多面的な施策を展開しており、今夏を目途に「健康寿命延伸プラン」が新たに策定される予定です。神奈川県は、「神奈川県がん対策推進計画」「かながわ健康プラン 21（第 2 次）」「かながわ未病改善宣言」で誰もが生き生きと健康に暮らし、充実した人生をおくることができる社会の実現に向けて、県民の理解と参加を呼びかけています。

協会は、これらの施策に積極的に協力するとともに、長年にわたり培ってきた予防医学の技術、即ち、健（検）診と栄養、運動、生活習慣の改善等を包括する総合健康支援の取組みによって、高齢期を迎えても、健康で活力ある暮らしを享受できる健康長寿社会の実現に寄与していきます。

I. このような状況下にあって次の重点課題を継承します。

1. ICT の活用による効果的・効率的なビジネスシステムの創造
2. 新規事業の開発・事業収入の拡大
3. すべての事業の見直し・改善・改革
4. 事業構造の見直し・再構築
5. 事業構造の再構築に対応する施設並びに健診機器等の整備

これらの一環として ICT を活用した新規事業の構築とともに、業務遂行過程の抜本的改革として、予約業務を Web に変え、以降のすべての業務工程を一貫処理する全体システムの最適化で事業の拡大と運営の安定化を目指します。

II. 具体的に取り組む重点項目は次のとおりとします

1. ICT を活用した総合健康支援システムを構築します。
2. 公益法人としての社会的責任(CSR)を果たし法令順守に努め事業を推進します。
3. 管理監督の強化で運営の健全性の向上を目指します。
4. プライバシーマークの精神に則り、個人情報保護管理の体制強化と ISO 9001 の基本理念である品質管理の維持向上に努力を重ねます。
5. 行政をはじめ医師会、大学などの関係機関との緊密な協力体制を基本とした活動を継続します。

6. 予防医療体制を拡充し、包括的な健康支援の充実を図ります。
7. 顧客の視点にたった接遇と教育による快適受診の向上を図ります。
8. 事業収入の拡大に努力するとともに、コスト意識を持ってすべての業務遂行工程の効率化と改善に取り組みます。
9. 禁煙・受動喫煙防止活動とピンクリボン活動を草の根運動として推進します。
10. 県民の健康増進と福祉の向上を目指した広報活動を展開します。
11. 健康経営と働き方改革の推進を図ります。
12. 安心・安全な職場づくりで良好な職場環境の実現に取り組みます。
13. 第7次グリーン・プランを平成31年度まで延長し、平成32年度からの第8次グリーン・プランの策定を進めます。

I. 健診・検査及び予防医療事業

協会を取り巻く環境は、景気の変動や他機関との競争の激化とともに、今年度は、元号が改まり消費税率の引上げも予定されるなかにあつて、事業構造の再構築により運営全般の安定化を目指します。

そのため、既存事業の改善で低コスト体質への変革に取り組むことで「高質で真に価値のある健康支援サービスをリーズナブルな料金で提供していく」というコンセプトと「協会だからこそできる健康支援」の創造を継承していきます。

次の重点課題に取り組みます。

- ① 特定健診・特定保健指導は、健診当日の初回面接の実施体制の充実を図ります。
- ② 健診現場のICT化をさらに推進し、健診全体の効率化に取り組めます。
- ③ 共同開発事業(未病を治すかながわ宣言・企業との協創による新事業)などを推進します。

平成31年度の健診検査目標数を別表のとおりとし、各保健分野別事業の重点項目を次に示します。

1. 地域保健分野

地域保健の骨格をなすがん検診は、国や神奈川県のがん対策に呼応した検診体制の強化と整備を図ります。31年度以降にがん検診の指針が改正される動きがあるので、改正後の市町村の対応について情報収集に努め的確に対応します。

また、協会は、科学的知見に基づく質の高いがん検診を実施し、受診しやすい環境の整備と受診率向上対策を推進します。国の第3期がん対策推進基本計画、神奈川県のがん対策推進計画に基づき、国、県、市町村のがん対策に協力いたします。

次の重点項目に取り組めます。

- ① 健康管理業務の代行機関として、受診勧奨から精検追跡までの一貫した健康管理業務のシステムの構築と運用
- ② 県・市町村をはじめ神奈川県都市衛生行政協議会、町村保健衛生連絡協議会等との連携強化と協同事業の実施
- ③ ピンクリボン活動による乳がん検診啓発活動の推進
- ④ マンモグラフィ検査の「ソフトコピー診断」の運用継続
- ⑤ 乳がん検診における超音波検査導入のための体制整備

2. 産業保健分野

健康経営の観点から労働者の健康課題の把握や心とからだの健康づくりなど多様化する健康ニーズに応えるために顧客の健康ニーズを的確に捉え、信頼に

応える総合健康支援サービスの提案を推進し、事業の拡大を目指します。

横浜市経済局、横浜市大との連携による LINKAI 横浜金沢ウエルネスセンター「健康経営支援拠点」をもとに事業の拡大を図ります。

業務の効率化と顧客満足度の向上を目的にWebによる健康診断予約の拡大と充実に取り組みます。

(1) 各種健康診断の充実と予防医療の推進

- ① 個人の健康支援事業の拡充
- ② 「かながわME-BYO 見える化センター」として新規事業の構築と拡大
- ③ LINKAI 横浜金沢ウエルネスセンター「健康経営支援拠点」を推進
- ④ ACクラブの充実と会員の拡大
- ⑤ 健康らいふ倶楽部の個人会員制の内容充実と拡大
- ⑥ 再検査、精密検査、外来及び初期医療への充実と拡大
- ⑦ 出たら検査の充実と拡大
- ⑧ 特定健康診査・特定保健指導の評価と事業の推進

(2) 総合健康支援業務の推進

- ① 外部団体（神奈川労働局、協会けんぽ、労安協、健保連神奈川など）との連携による情報収集力の強化
- ② 業務の効率化を目指した巡回健診、施設健診におけるWeb予約の推進
- ③ 健診全般のデータ管理、事後措置支援までを包括した総合健康支援業務の推進
- ④ 健診と連動したフォロー体制の整備（産業医、保健師活動等）
- ⑤ 職場のメンタルヘルス対策（ストレスチェック）の事業拡大
- ⑥ メンタルヘルス事業の充実と過重労働対策の推進
- ⑦ かながわ健康支援セミナーを活用した健康支援に関する情報提供の拡大
- ⑧ 特殊健康診断と作業環境調査の連携による快適職場の推進と事業の拡大
- ⑨ 労働衛生コンサルタント、健康指導の専門スタッフによる健康管理業務の支援
- ⑩ Assist(健康管理支援ソフト)を活用した健康管理サポートの推進

3. 学校保健分野

少子高齢化の進展した社会にあって、学校における児童生徒の健康管理には積極的な支援をしています。本年度も学校保健安全法に基づく児童生徒の健康保持増進に向けて、各種検診・検査の精度向上と効率化を推進します。

また、“生涯を通しての健康の基盤づくりは学童期にある”との視点から、行政をはじめ医師会、養護教諭部会、大学病院などの関係機関・団体で構成される検診システムなどに参加し、その充実を図るために積極的に協力します。

尿検査は、今年度より二次検査において尿中蛋白／クレアチニン比検査を導入いたします。

次の重点項目に取り組みます。

- ① 各種検診・検査の充実

- ② 対象者情報の電磁媒体等での受領による事務処理の効率化とプライバシー保護を重視したデータ処理システムの定着と拡大
- ③ 各種検診システムの運営充実及び未設置地域のシステム化への協力
- ④ 養護教諭など関係者との緊密な連携
- ⑤ 学童心電図のデジタルファイリング試行の継続
- ⑥ 禁煙・がん予防・肥満など学校現場における教育への協力

4. 母子保健分野

本年度も、子育て支援施策として母子保健検査の充実を図ります。行政及び神奈川県医師会の指導のもとに母子保健分野でのスクリーニングセンターとして、先天性代謝異常検査の内容充実、検査方法の改良、検査技術の向上、データ管理の充実、陽性者の追跡調査などに協力します。

タンデムマス法による検査は、事業の定着化と適正な検査体制の確立を目指します。

5. 環境保健分野

水質検査及び簡易専用水道検査は、信頼される安心、安全な飲料水の確保を目指し、信頼性の高い検査結果を提供します。作業環境調査は働く職場を的確に測定、評価するとともに、特殊健康診断との連携を強化し、快適な職場環境の形成を支援します。さらに、ISO9001（品質マネジメントシステム）の基本理念を継承し、品質の向上と顧客満足度の高いサービスの提供に努めるとともに、効率的な検査実施体制の推進と受託拡大に努めます。

6. 施設健診

施設健診では、受診者個別の健診結果に即した事後フォローや精密検査などのフォローシステムの充実を図ります。さらに電子カルテも含めた施設のICT化による情報の共有化の充実を推進するとともにトータルな健康支援機関としての役割を果たせるように努めます。

また、未病の概念のもとアミノ酸分析やABC検診などがんのリスク検査の充実と拡大に積極的に取り組むとともに、『ロコモティブシンドローム健診』や『物忘れ検査』と『視野スクリーニング検査』などシニア層向けの新たな健診・検査の事業化による健康長寿社会の実現の推進を図ります。

さらに、医療安全管理体制の強化を図るとともに『あなたの相談室』の活用により快適な受診環境の提供や地域、専門医療機関との連携による適切な事後フォローの提供に努め、より安心して安全な健康診断の提供に努めます。

次の重点項目に取り組めます

- ①精密検査などの二次検査の受診勧奨による未受診者のフォロー
- ②電子カルテも含めたICT化によるトータルな健康支援
- ③早期発見に向けたアミノ酸分析やABC検診などがんリスク検査の充実と拡大
- ④シニア層向けの『ロコモ健診』『ものわすれチェック』『視野検査』などの新たな健診・検査の拡大

- ⑤安心安全な健康診断の提供のための医療安全管理体制の更なる強化
- ⑥快適受診のための受診者の視点に立ったサービスの向上
- ⑦適切な事後フォローのための地域、専門医療機関との連携の強化

Ⅱ. 健康創造活動

日本人の平均寿命は、男性 81.09 年、女性 87.26 年と過去最高を更新し、世界有数の長寿国です。しかし「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」である健康寿命は男性 72.14 年、女性 74.79 年と平均寿命との差は男性 8.95 年、女性 12.47 年あり、「健康日本 21（第 2 次）」は、この「健康寿命の延伸」を大きな中心課題として、取り組んでいます。

神奈川県も「神奈川県保健医療計画」や「かながわ健康プラン 21（第 2 次）」を策定し「未病を治すかながわ宣言」を行い、「健康寿命日本一」を目指した県民健康づくり運動をスタートさせております。健康寿命を延伸するためには、自分自身の健康意識の向上を目指すヘルスリテラシーの考えに基づき、個々の人が、運動、栄養、社会参加の三つのすべての要素に積極的に取り組むことが大切です。

協会も県が推進する「未病センター推進協議会」や「未病産業研究会」などに参画し、新しい健診・検査の開発や個人への医療情報提供システムの構築など、時代に即した活動に取り組んでいます。

また、協会が長年にわたって培ってきた健康診断とその結果に基づく保健相談や保健指導等を含めた健康診断から健康支援までを一貫して行う体制を専門職の関与により、いっそう充実させています。これは、受診者の運動・栄養・生活習慣の改善等に取り組み、生活習慣病予防や介護予防についての知識の普及啓発活動を展開するとともに県民への総合的な健康支援を行っていくものです。また、労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度への対応など働く人のメンタルヘルス対策の充実にも努めています。

1. 健康支援活動

- ① 健康診断結果に基づく運動・栄養・生活指導を主とした生活習慣病予防・改善指導の充実
- ② 各種団体からのニーズに的確に応え、集団特性に応じた健康支援活動の推進
- ③ 各種団体の衛生管理担当者や個人受診者と連携を深め、最新の健康情報やトピックスを提供する「かながわ健康支援セミナー」「健康講座」の定期開催

2. 産業保健活動

労働者を取り巻く環境は年々厳しくなり、一般定期健康診断の有所見率や、ストレスが関係した精神障害もともに増えています。それによる社会のニーズに応え、産業保健の視点から、事業場のニーズに即した保健サービスが提供できるよう産業看護活動を展開します。ICT を活用し、時代に即した健康支援ツ

ールの開発を検討します。そして、産業看護専門職としての「技術」向上を目指します。

また、良質な保健指導の実施体制を維持するために、品質管理のマネジメントシステムを継続し、マンパワーの確保と事業継続に努力します。

(1) 産業保健事業

事業場全体の健康支援を心身両面から個人、集団、組織にわたって行います。健康診断結果に基づく事後指導、事業場の健康管理計画立案への協力、従業員や管理監督者に対する集団健康教育、衛生管理者支援を実施します。

(2) 特定保健指導事業

対象者の全体像をアセスメントする質の高い保健指導に向けて、調査表等の教材開発を継続します。また、第3期2年目となり、健康診断当日の初回面談実施に向けて、取り組みます。

(3) 保健指導の品質管理

保健指導の品質を保ち、顧客へ最良のサービスができるように、保健師教育として効果的な内部、外部の研修やOJTを行います。また、保健指導サービス品質管理マニュアルに則り、保健指導品質管理委員会活動を継続し、内部監査などでチェックし改善につなげます。

3. メンタルヘルス事業の推進

ストレスチェックの義務化を受けて、協会が構築したシステムを運用しながら集団分析や職場環境改善の提案・指導についても、顧客が利用しやすく効果的な支援を目指します。

4. 広報活動

県民の健康の増進と福祉の向上を目的とした広報活動を展開するとともに、県民の高い信頼が得られるよう協会活動を県民に情報発信していきます。

- ① 定期刊行物の機関紙「健康かながわ」（月刊）、研究誌「予防医学」（年刊）、事業報告誌「事業年報」（年刊）、個人受診者会報誌「マリンプルー」（年3回）の内容の充実
- ② ホームページの充実やデジタルサイネージ（電子看板）の積極的な活用
- ③ マスメディアへのパブリシティ等による協会事業の普及・推進
- ④ 関係団体と連携を深め、健康づくりやがん予防、生活習慣病改善（未病改善）等の啓発

5. 禁煙・受動喫煙防止活動

協会は「禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議（平成28年6月改称）」及び「スモークフリー推進かながわ基金」設立の当初から事務局を引き受け、県が進める受動喫煙防止対策に協力しています。また、同組織を通して県内の関係団体と連携し、学校・地域・職域において禁煙支援、受動喫煙防止対策を推進していきます。

6. ピンクリボン活動

平成18年度からNPO法人乳房健康研究会と協会で構成された「ピンクリボ

ンかながわ」が行っている乳がん啓発活動も12年を経過しました。その間、県内市町村や企業・団体との連携も拡大してきており、今後も県から貸与されたマンモグラフィ検診車の活用を図り、県内市町村や企業・団体のイベントに積極的に協力し、乳がん検診の受診率向上に寄与することを目指します。

Ⅲ. 内部体制の充実

法令を順守し、社会的信用と信頼性の保持された協会事業運営を進め、協会の果たすべき役割をより一層発揮するとともに、事業を円滑に推進するため、引続き次の事項を重点に取り組みます。

1. 事業運営の安定化

公益目的事業の推進に努めるとともに、渉外活動の拡充を図り、顧客の定着と新規開拓を進め、健全な事業運営と事業収入の確保に努力します。

また、すべての事業実施方法を見直し、事業の効率化、業務能率の向上を進め、財政基盤の安定化及び事業効率のより一層の向上を図ります。

「横浜健康経営クラスAAA」の認証法人として、職員一人ひとりの健康の維持・増進に対する支援を一層充実させ活気ある職場の形成に努めます。

2. 健診実施運営体制の再整備

巡回健診及び施設健診の実施運営体制を逐次見直し・改善を行い、快適かつ安全・安心な受診環境を目指しお客様へのサービスと接遇の向上をさらに進めるとともに、健診方法の見直し・改善や健診スタッフの効果的、効率的な配置などに取り組み、健診実施運営の効率化を推進します。

また、健康寿命の延伸を目的とした事後指導・健康支援活動を強化するために、予防医療体制の充実を引続き図っていきます。

3. コンピュータ・システムの充実

現行の基幹システムは、平成14年から運用を始め、この間必要に応じてOS・サーバー等の更新、ならびに機能の向上を行ってきましたが、今後求められる高次元の環境にも対応できるシステムとするために更に機能を高めていきます。

併せて、ICTの活用による効果的・効率的なビジネスシステムの創造にも引き続き取り組みます。

4. その他

(1) 機器等の整備

事業構造の再構築に対応する施設及び健診・検査機器等の整備をはじめ、保健医療技術や情報技術などの高度化、健診・検査の精度の維持・向上、お客様サービス水準の向上及び業務効率化等に対応するために、健診・検査機器等の調達を進めていきます。

(2) 健診総合精度管理の推進

協会職員の技術水準をより一層向上させるため、内部研修を進めるとともに、全国団体や学会、研究会などの各種研修会に参加します。

また、健診・検査の精度を維持・向上させるため、健診・検査業務の継続的な評価と見直しによる標準化とマニュアル整備などを進めて、内部精度管理を徹底するとともに、外部精度管理調査にも積極的に参加し、信頼性の向上に繋げていきます。

IV. 調査・研究の推進

日常業務の課題を取り上げ、大学や研究機関などの指導と協力を得て予防医学に関する調査・研究を行い、その成果は、関係学会や研究会などでの発表を推進します。

(※) は新規、(共同) は大学・研究機関などとの共同研究を指します。

1. 呼吸器関係

- ① 集団検診における肺がんの早期発見の研究
- ② 厚木市・大和市の肺がん検診(読影)事業について
- ③ 肺がんCT検診を利用した背景肺病変(気腫、間質性変化)に対する疫学・観察研究

2. 婦人科関係

- ① がん検診診断法の改良に関する研究(HPV)
- ② 細胞診判定ASC-USの転記—その現状と新しい基準の判定
- ③ 乳がん二次検査における穿刺吸引細胞診(FNA)の精度管理

3. 循環器関係

- ① メタボリックシンドロームのICT技術等を活用した効果的指導法の確立(共同)
- ② 生活習慣病とアミノ酸に関する研究(共同)

4. がん予防関係

- ① がんのリスク分類とアミノ酸に関する研究(共同)
- ② PSA値と前立腺癌早期発見に関する研究
- ③ キャンサーサバイバーの健康管理に関する研究
- ④ カテゴリー3の石灰化の取り扱いについての検討(※)

5. 健康管理関係

- ① 健康診断(人間ドック)における早期関節リウマチ患者の診断システムの確立及び同集団の関節リウマチ罹患率などの研究
- ② 採血合併症に関する研究
- ③ ME-BYO改善プログラムの効果の検討
- ④ 特定保健指導品質管理における目標と評価項目の再構築
- ⑤ 管理者を対象とした喫煙対策の健康教育の効果(※)
- ⑥ 小規模事業所の健康管理支援について(※)

6. 検査関係

- ① 先天性代謝異常等検査法改良に関する研究
- ② 唾液による歯周疾患スクリーニング検査の検討(※)
- ③ 学校健診における心電図デジタルファイリングの検討

- ④ LBC法導入による運用および効果の検討
- ⑤ 毛髪中のミネラル成分の分析方法の検討(※)

7. 健康教育関係

- ① 生活習慣病改善プログラムにおける運動療法についての研究